

## 奥田 隆一 教授 略歴および主要研究業績



### 〈略 歴〉

#### 学 歴

- 1971年 3月 31日 大阪府立泉陽高等学校 卒業  
1976年 3月 31日 神戸市外国語大学外国語学部英米学科 卒業  
1979年 3月 31日 神戸市外国語大学大学院 外国語学研究科 英語学専攻修士課程 修了

#### 職 歴

- 1980年 4月 1日 近畿大学教養部助手（1983年まで）  
1983年 4月 1日 近畿大学教養部専任講師（1987年まで）  
1987年 4月 1日 近畿大学教養部助教授（1999年3月まで）  
（1990年9月～1991年8月 米国ハーバード大学言語学科客員研究員）  
1999年 4月 和歌山大学教育学部教授（2008年3月まで）  
2008年 4月 関西大学外国語教育研究機構教授  
2009年 4月 関西大学外国語学部教授（2020年3月まで）  
（2014年4月～9月 米国北アリゾナ大学客員研究員）  
2020年 4月 関西大学外国語学部特別契約教授（2023年3月まで）  
2023年 4月 関西大学名誉教授

賞 罰

2014年3月 『英語ことわざ使用の実態』の出版により日本英語コミュニケーション学会学会賞 学術賞 受賞

主な所属学会及び社会的活動等

日本英語コミュニケーション学会 (1991～、理事 2003.10～2007.10、副会長 2007.10～2013.10、会長 2013.10～2017.10、理事 2017.10～)、日本英語表現学会 (1987～、理事 2006.6～)、日本英語学会 (1983～)、英語語法文法学会 (1993～)、日本英文学会 (1978～1998)、大学英語教育学会 (1987～、関西支部研究企画委員 2004.9～2006.8)、関西英語教育学会 (2004.3～2008.3、評議員 2005.9～2007.8)

和歌山英語教育研究会・会長 (2002.4～2005.3)

和歌山県中学高・高等学校英語教員集中研修講座講師 (2002～2007)

和歌山県立那賀高校スーパーイングリッシュランゲージハイスクール運営指導委員 (2005.4～2008.3)

〈主要研究業績一覧〉

【著書】

1. 『英語ことわざ使用の実態』 関西大学出版部, 全193ページ, 2020.
1. 『英語語法学の展開』 関西大学出版部, 全179ページ, 2018.
1. 『英語教育に生かす英語語法学』 関西大学出版部, 全249ページ, 2016.
2. 『英語語法学をめざして』 関西大学出版部, 全317ページ, 2013.
3. 『英語観察学』 鷹書房弓プレス (東京), 全256ページ, 1999.

【学術論文】

1. 「アジアにおける英語による専門教育 (EMI) の課題と展望: 日本と台湾での実践から」『関西大学高等教育研究』第12巻 pp.99-111. 共著 2021年 共著者 山本英一、西平等、田中孝憲、平田孝志、林沁雄、陳立剛、李淑容、施富盛
2. 「Excuse you. の英語語法的分析」単著 2014年 塩澤正他編『現代社会と英語—英語の多様性を見つめて』金星堂 pp.321-332.
3. 「英語語法における曖昧性の回避について」単著 2013年『関西大学外国語学部紀要』第9号, pp.83-94.
4. 「形容詞とともに使われる a lot について」共著 2013年12月『日本英語コミュニケーション学会紀要』 pp.17-25 共著者: 簾隆

5. 「英和辞典に入れる情報をどう選ぶかについて—携帯電話表現を中心に—」 単著 2010年6月 『英語表現研究』第27号 pp.65-77.
6. 「According to me の語法」 単著 2010年3月 『外国語学部紀要』(関西大学外国語学部)第1号 pp.3-12.
7. 「時代の変化に対応する和英辞典を求めて—アメリカ英語における携帯電話の英語表現」 単著 2009年 『外国語教育研究』(関西大学外国語教育研究機構)第17号 pp.1-15.
8. 「英語リーディングの授業における英語学的知識の活用について」 単著 2008年2月 『和歌山大学教育学部紀要. 人文科学』Vol. 58, pp.73-80.
9. 「コーパスを使った用法研究を考える」 単著 2004年2月 『和歌山大学教育学部紀要』第54集 pp.191-200.
10. 「翻訳のわかりにくさ」 単著 2000年10月 藤本昌司監修 『言葉からみた人間』 鳳書房 pp.247-258.
11. 「It's time ... という表現について」 単著 1998年5月 小西先生傘寿記念論文集編集委員会 [編] 『現代英語の文法と語法』 大修館書店 pp.39-46.
12. 「be short of / on ... という表現について」 単著 1997年7月 『近畿大学教養部研究紀要』第29巻 第1号 pp.31-45.
13. 「英語における声を表す表現—voiceを中心に」 単著 1997年12月 英語表現学会紀要 『英語表現研究』第14号 pp.67-75.
14. 「be interested to do の語法」 単著 1995年12月 『近畿大学教養部研究紀要』第26巻 第2号 pp.35-51.
15. 「コーパス言語学の問題点」 単著 1994年9月 『近畿大学語学センター紀要』第2巻 第2号, pp.107-116.
16. 「Envy の語法的分析」 単著 1994年3月 『近畿大学教養部研究紀要』第25巻 第3号 pp.1-11.
17. “Contrastive Analysis of the Use of please and Its Japanese Equivalent douka/douzo” 単著 1993年12月 『近畿大学教養部研究紀要』第25巻 第2号 pp.15-27.
18. 「英語教育への対照言語学的観点の導入」 単著 1993年10月 『日本英語コミュニケーション学会紀要』第2巻 第1号, pp.1-6.
19. 「日英語の違いと英語教育」 単著 1993年9月 『近畿大学語学センター紀要』第2巻 第1号, pp.75-87.
20. 「Over 再考」 単著 1993年7月 『近畿大学教養部研究紀要』第25巻 第1号 pp.21-36.
21. 「「the + 形容詞」表現の意味と用法」 単著 1988年12月 六甲英語学研究会編 『現代の言語研究』 金星堂. pp.215-225.
22. 「語法研究の新しい方向」 単著 1986年10月 『語法研究と英語教育』No. 8 山口書店 pp.

- 10-18.
23. 「現代英語の please の用法」単著 1985年9月『時事英語学研究』時事英語学会紀要 No.XXIV pp.93-101.
24. 「「envy の語法」をめぐる」単著 1984年12月『近畿大学教養部研究紀要』第16巻 第2号 pp.59-70.
25. 「語法と英語教育」単著 1984年7月『近畿大学教養部研究紀要』第16巻 第1号 pp.31-45.
26. 「英語の固有名詞」単著 1984年3月『近畿大学視聴覚教室通信』第2号 pp.11-16.
27. 「状態動詞と動作動詞」単著 1983年10月『語法研究と英語教育』No.6 山口書店 pp.11-18.
28. 「Likely の意味と用法」単著 1983年9月 時事英語学会紀要『時事英語学研究』No.XXII pp.31-39.
29. 「同語反復と A is A is A 構文」単著 1983年3月『近畿大学教養部研究紀要』第14巻 第3号 pp.69-81.
30. 「フォニックスについて」単著 1983年3月『近畿大学視聴覚教室通信』第2号 pp.11-15.
31. 「現代英語に於ける worth の語法」単著 1982年11月『近畿大学教養部研究紀要』第14巻 第2号 pp.49-60.
32. 「「～しながら」という意の over について」単著 1982年10月 No.5 山口書店『語法研究と英語教育』 pp.33-42.
33. 「スピーチレベルと容認度」単著 1982年3月『近畿大学教養部研究紀要』第13巻 第3号 pp.67-76.
34. 「ディクテーションにおける生徒の誤り」単著 1982年3月『近畿大学視聴覚教室通信』第2号 pp.9-16.
35. “On Adverbial please” 単著 1981年12月 Konishi (ed.) Studies in Grammar and Language. Kenkyusha. pp.94-102.
36. 「形容詞の前置と後置」単著 1981年11月『近畿大学教養部研究紀要』第13巻 第2号 pp.27-36.
37. 「文法理論とその資料」単著 1981年7月『近畿大学教養部研究紀要』第13巻 第1号 pp.23-34.
38. 「日英比較と英語教育」単著 1981年3月『近畿大学教養部研究紀要』第12巻 第3号 pp.13-27.
39. 「英語の音声教育について」単著 1981年3月『近畿大学視聴覚教室通信』第2号 pp.7-16.
40. 「現代アメリカ英語における簡略化の傾向」単著 1980年10月『語法研究と英語教育』

No. 3 山口書店 pp.25-34.

41. “Simplicity in American English” 単著 Rokko Review No. 1 pp.42-81 1979年8月

**【著書】〈辞書：分担執筆〉**

1. 『英語基本名詞辞典』 共著 2001年5月 研究社（東京） 編者：小西友七 company, fact, police, office, を執筆。
2. 『ランダムハウス英和大辞典』（第2版） 共著 1993年9月 小学館（東京） 編者：小西友七 march, melt, plot, suspend, sweep 等 17 語執筆。
3. 『英語基本形容詞・副詞辞典』 共著 1989年4月 研究社（東京） 編者：小西友七 beautiful, busy, likely, please, worth を執筆。
4. 『英語基本動詞辞典』 共著 1980年10月 研究社（東京） 昭和59年 編者：小西友七 proceed, save, seek, separate sweep, trouble を執筆。

**【著書】〈大学用テキスト〉**

1. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（24）』 共編 2023年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
1. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（23）』 共編 2022年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
1. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（22）』 共編 2021年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
1. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（21）』 共編 2020年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
1. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（20）』 共編 2019年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
1. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（19）』 共編 2018年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
1. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（18）』 共編 2017年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
2. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（17）』 共編 2016年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
3. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（16）』 共編 2015年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ
4. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース（15）』 共編 2014年1月 朝日出版社（東京）  
総ページ：130 ページ

5. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース (14)』 共編 2013年1月 朝日出版社 (東京)  
総ページ: 130 ページ
6. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース (13)』 共編 2012年1月 朝日出版社 (東京)  
総ページ: 109 ページ
7. 『Windows on Reading—英文理解のための手引き』 共編 2011年1月 センテージ・ラー  
ニング (東京) 共編 総ページ: 68 ページ
8. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース (12)』 共編 2011年1月 朝日出版社 (東京)  
総ページ: 109 ページ
9. 『THOUGHTS and FEELINGS: Reading and Writing for Self-Expression—現代人の思考と  
心理』 共著 2010年3月 南雲堂 (東京) 共著者: Jim Knudsen 総ページ: 83 ページ
10. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース (11)』 共編 2010年1月 朝日出版社 (東京)  
総ページ: 109 ページ
11. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース (10)』 共編 2009年1月 朝日出版社 (東京)  
総ページ: 109 ページ
12. 『CNN ビデオで見る世界の英語ニュース (9)』 共編 2008年1月 朝日出版社 (東京) 総  
ページ: 109 ページ
13. 『TOEIC Test へもう一步』 共著 2007年4月 朝日出版社 (東京) 共著者: Kevin Collins
14. 『新 日英比較・語法英作文』 単著 2003年4月 鷹書房弓プレス (東京) 総ページ: 74  
ページ
15. 『Celebration of America』 共著 2001年2月 三修社 (東京) 共著者: Peter Serafin 総  
ページ: 85 ページ
16. 『Talking from 9 to 5』 共編 2000年1月 松柏社 (東京) 共編者: 広瀬浩三 総ページ:  
107 ページ
17. 『Read Your Way to English』 共編 1998年4月 朝日出版 (東京) 共編者: 井狩幸男 総  
ページ: 135 ページ
18. 『基礎英文法・総合演習』 共著 1997年3月 鷹書房弓プレス (東京) 共著者: 山本英一  
総ページ: 89 ページ
19. 『Understanding Computers』 単編 1996年4月 マクミラン・ランゲージハウス (東京)  
総ページ: 88 ページ
20. 『速修・基本英語』 共著 1995年4月 鳳書房 (東京) 共著者: 山本英一他4名、総ペ  
ージ: 52 ページ
21. 『英単語のロマンスⅡ』 共編 1994年4月 鷹書房弓プレス (東京) 共編者: 浅田寿男  
総ページ: 89 ページ
22. 『英単語のロマンスⅠ』 共編 1993年4月 鷹書房プレス (東京) 共編者: 広瀬浩三 総

ページ：89 ページ

23. 『That Is Not What I Mean』 共編 1987年12月 金星堂（東京） 広瀬浩三 総ページ：92 ページ
24. 『日英比較・語法英作文』 単著 1987年4月 鷹書房弓プレス（東京） 総ページ：89 ページ
25. 『Toward Humanity』 共編 1986年4月 金星堂（東京） 共編者：宇佐見太市 総ページ：82 ページ
26. 『英文法・英作文』 共著 1986年4月 鷹書房弓プレス（東京） 共著者：広瀬浩三 総ページ：89 ページ

#### 【著書】〈翻訳〉

- N. D. タートン 『ロングマン英語正誤辞典』 共訳 1991年5月 金星堂（東京） 共訳者：内木場努他2名 全389頁。pp.1-93を担当。

#### 【その他】（書評）

- 大津栄一郎著『英語の感覚』（上）（下） 単著 『現代英語教育』1993年9月号 pp.58-59 1993年9月

#### 【口頭発表】

1. 「英語学から見た英語コミュニケーション」共同 2022年10月8日 日本英語コミュニケーション学会第31回年次大会シンポジウム 山本英一（関西大学）、神崎高明（関西学院大学）
2. 「英語ことわざ使用の実態について」単独 2021年1月24日 日本英語コミュニケーション学会第64回関西地区研究フォーラム
3. 「動作動詞のように使われる状態動詞の用法について」単独 2019年1月26日 日本英語コミュニケーション学会第60回関西地区研究フォーラム
4. 「気になる英語表現」単独 2017年1月29日 第56回関西地区研究フォーラム
5. 「和英辞典の役割を考える—その記述をめぐって」共同 2014.10.4 日本英語コミュニケーション学会第23回年次大会
6. 「日本の英語辞典を変えた二人：小西友七と小島義郎」共同 2012.6.17 日本英語表現学会・学会創設30周年記念大会シンポジウム 飯塚利昭（大修館書店編集第二部）、小沼利英（元研究社辞書編集部）、山田茂（早稲田大学）
7. 「和英辞典に入れる情報をどう選ぶかについて」単独 2009.6.14 日本英語表現学会第38回大会

8. 「現代英語における thus の用法について」単独 2007. 6. 17 日本英語表現学会第36回年次大会、福岡
9. 「頻度と文法性と容認度について」単独 2005. 7. 16 JACET 第8次学習英文法研究会例会、大阪
10. 「コーパスを使った用法研究を考える」単独 2003. 6. 21 第102回メビウス研究会(京都外国語大学)、京都
11. 「日本人学生が誤解しやすい英語表現の特徴」単独 2003. 5. 31 JACET 第8次学習英文法研究会例会、大阪
12. 「英語表現研究の諸相—語学、教育、翻訳、文学の立場から—」共同 2001. 6. 28 日本英語表現学会第31回大会シンポジウム 岸暁、岩崎里子
13. 「ライティングにおける誤りの英語学的分析」共同 1998. 8. 5 語学ラボラトリー学会第38回全国研究大会、福岡 山本英一
14. 「英語の感覚と表現—共感覚表現を中心に—」共同 1997. 6. 21 日本英語表現学会第26回年次大会シンポジウム 吉村耕治、山本英一
15. 「英語における声を表す表現—voiceを中心に」単独 1996. 6. 23 日本英語表現学会第25回年次大会
16. “Subject—Aux. Inversion and Negative Elements” 単独 1991. 3. 13 Colloquium at the Linguistics Department of Harvard University, USA
17. 「[the + 形容詞] 表現の特徴」単独 1988. 10. 23 英語表現学会第13回年次大会、大阪
18. 「take a walk 型連語関係の研究」単独 1988. 7. 31 語学ラボラトリー学会年次大会、名古屋
19. “Contrastive Analysis of the Use of please and Its Japanese Equivalent douka/douzo” 単独 1988. 8. 15 International Conference of the Cross Cultural Communication, Texas, USA
20. 「The + 形容詞について」単独 1988. 1. 25 六甲英語学研究会1月例会、神戸
21. 「英語教育、語法研究におけるコンピュータ利用の可能性」 1987. 1. 31 名古屋言語研究会1月例会、名古屋
22. 「英文法教育の問題点」単独 1986. 12. 20 六甲英語学研究会12月例会、神戸
23. 「“envy”の語法と文法」単独 1985. 10. 6 日本時事英語学会第27回年次大会、東京
24. 「体系的・理論的語法研究について」単独 1985. 9. 22 六甲英語学研究会9月例会、神戸
25. 「特殊な二重目的語構文について」 1984. 12. 20 名古屋言語研究会12月例会、名古屋
26. 「現代英語の please の用法」単独 1984. 10. 6 日本時事英語学会第26回年次大会、東京
27. 「『envy の語法』をめぐる」 1984. 6. 24 六甲英語学研究会6月例会、神戸
28. 「語法と英語教育」単独 1983. 12. 17 日本時事英語学会関西支部例会、大阪
29. 「語用論的観点からの語法研究」単独 1983. 6. 25 名古屋言語研究会6月例会、名古屋



30. 「A is A is A 構文について」単独 1983. 5. 29 六甲英語学研究会 5 月例会、神戸
31. 「現代英語における worth の語法」単独 1981. 10. 4 日本時事英語学会第 23 回年次大会、名古屋
32. 「形容詞の前置と後置」単独 1981. 6. 29 六甲英語学研究会 6 月例会、神戸
33. 「文法理論とその資料」単独 1981. 4. 25 名古屋言語研究会例会、名古屋
34. 「現代アメリカ英語における簡略化の傾向」単独 1980. 7. 21 日本時事英語学会関西支部例会、大阪

### 【共同研究】

1. 「アジア諸国における EMI の理論と実践」(関西大学教育研究高度化促進費)(2021～2024)  
研究代表：山本英一  
メンバー：山本英一(国際部・教授)、奥田隆一(外国語学部・教授)、西平等(法学部・教授)、後藤健太(経済学部・教授)、権南希(政策創造学部・教授)、五十嵐元道(政策創造学部・准教授)、平田孝志(システム理工学部・教授)、林沁雄(東呉大学経済学系・教授)、陳立剛(東呉大学政治学系・副教授)、李淑容(東呉大学社会工作学系・副教授)、施富盛(東呉大学社会学系・助理教授)、彭思遠(東呉大学日本語文学系・助理教授)、Vũ Thị Thanh Nhā(ベトナム国家大学ハノイ校・准教授)
2. 「専門科目を英語で教育する方法についての国際共同研究」(関西大学教育研究高度化促進費)(2017～2020) 研究代表：奥田隆一  
メンバー：関西大学：奥田隆一(外国語学部教授)、山本英一(国際部教授)、西平等(法学部教授)、田中孝憲(商学部准教授)、平田孝志(システム理工学部准教授)／東呉大学：林沁雄(経済学系教授)、陳立剛(政治系副教授)、李淑容(社会工作学系 副教授)、施富盛(社会学系 助理教授)

